

記者発表資料

**R2町道御鉾橋線橋梁下部工事において  
「公募型指名競争入札方式」による工事発注を試行します。  
不調・不落対策として「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」  
「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」  
「難工事指定」を試行します。**

**また、工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を拡大します。**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難である等の工事内容や地域特性を踏まえ、競争参加者が少数と見込まれ、技術的難易度が比較的低い工事について、「公募型指名競争入札方式」による工事発注を試行します。

また、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2町道御鉾橋線橋梁下部工事」は、**関東地方整備局で初めての直轄修繕代行の工事**で、群馬県神流町の町道御鉾橋線における御鉾橋の橋台を施工するものですが、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、以下の試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

②「間接工事費実績変更方式」

本工事は、「運搬費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

③「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」

本工事は、地域外から労働者の確保が必要な工事と考えられ、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」「現場管理費のうち労務管理費」について、標準積算と実際に係る費用に乖離が考えられるため、その妥当性を確認の上、実績変更する「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」を試行します。

④「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

⑤「競争参加資格の地域要件拡大」

工事場所等の地理的条件を勘案し、「群馬県内」に加えて「栃木県内」「埼玉県内」「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業を対象とします。

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、高崎記者クラブ  
栃木県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ  
長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

**問い合わせ先**

国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所 電話：027-345-6000（代）  
副所長（技） 山崎 茂（やまざき しげる） 内線：204  
工務第二課長 島倉 照勝（しまくら てるかつ） 内線：411

高崎河川国道事務所ホームページ

《R2町道御鉾橋線橋梁下部工事 工事概要》

- (1) 工事名 : R2町道御鉾橋線橋梁下部工事
- (2) 工事場所 : 群馬県多野郡神流町大字生利地先  
ぐんまけんたのぐんかんなまちおおあざしょうり
- (3) 工期 : 工事の始期から280日間（工事着手期限：令和2年9月24日まで）
- (4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）【試行】
- (5) 工事種別 : 一般土木工事 C+B
- (6) 地域要件 : 群馬・栃木・埼玉・長野県内のいずれかに建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有すること。
- (7) 工事内容（概要）
- ・橋台工 1式（コンクリート 241m<sup>3</sup>、鉄筋 38.34t）
  - ・構造物撤去工 1式（コンクリート構造物取壊し 62m<sup>3</sup>、ワイヤー切断 79m<sup>2</sup>）
  - ・仮設工 1式（仮水路工 204m、作業ヤード整備工 1,400m<sup>3</sup>）
- (8) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」の試行について  
競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者の要件は求めない）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。  
なお、総合評価の評価項目は「災害協定等に基づく活動実績」を加算点としています。
- (9) 「見積活用方式」について
- ①見積の提出を求める工程  
直接工事費のうち、「コンクリート工」「型枠工」「鉄筋工」「支保工」「足場工」に係るもの
  - ②見積の提出を求める理由  
本工事における橋台工は、既設橋台の上部を撤去して残存部分に新設橋台を増設するものであり、施工にあたっては河川に設置する狭隘な作業ヤードから行うと伴に、隣接する民家へ配慮しながらの施工となることから、作業効率の低下が懸念されます。  
以上の点から、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため「見積活用方式」を試行します。
- (10) 「間接工事費実績変更方式」について
- ①実績により変更を行う工程  
共通仮設費（率分）のうち「運搬費」
  - ②実績により変更を行う理由  
本工事は、山間部に位置する施工箇所であり、資機材などの輸送経路が国道462号を利用する事になる。国道462号は縦断線形が厳しい事や、現場周辺に資機材置き場の確保が困難であり、日々回送が発生するなど、資機材運搬等における作業効率の低下が懸念されます。  
以上の点から、「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。
- (11) 「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」について
- ①実績により変更を行う工程  
共通仮設費（率分）のうち「営繕費」及び現場管理費のうち「労務管理費」
  - ②実績により変更を行う理由  
本工事は、山間僻地であり地域外から労働者の確保が必要な工事と考えられ、宿泊費や労働者の赴任手当など標準積算と実際に係る費用に乖離が考えられるため、その妥当性を確認の上、実績変更する「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」を試行します。
- (12) 「難工事指定」について  
本工事は、現場条件が狭隘な工事であることから、「難工事指定」を実施します。  
「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加算対象となります。
- (13) スケジュール
- 入札公告：令和2年 7月17日（金）
  - 開札日：令和2年 9月 8日（火）

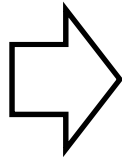
# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示  
(工事内容・入札時期・落札方式等)

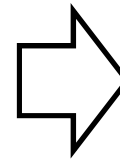


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制  
評価点(30点)÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

(3/3)

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上